

酒類総合研究所(広島県東広島市)は17日、2018酒造年度(18年7月〜19年6月)の日本酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」の審査結果を発表した。本県は、特に優れていると評価された金賞酒に22銘柄が選ばれた。金賞銘柄数は都道府県別で最多となり、7年連続の「日本一」に輝いた。全国初の6年連続だった昨年度の快挙を塗り替え、新たな歴史を刻んだ。

全国から857点の出品があり、入賞は416点。このうち、金賞が237点。本県の入賞は31点だった。都道府県別の金賞銘柄数は秋田が18、兵庫が16、新潟が15、長野が14だった。

2001酒造年度以降の金賞受賞では、「奥の松」の東日本酒造協業組合(二本松市)が11年連続で県内最多の17度目。国権酒造(南会津町)が12年連続15度目。金水晶酒造店(福島市)名倉山酒造、鶴乃江酒造(会津若松市)豊國酒造(会津坂下町)が13度目の金賞を獲得した。

# 7 連 覇

## 新酒鑑評会 22銘柄

# 金賞 日本一



撮影協力・鈴善漆器店(会津若松市)

### 県産酒 金賞銘柄

- 金水晶
- 寿々乃井
- 廣戸川
- 雪小町
- さかみずき
- あぶくま
- 三春駒
- 東豊国
- 奥の松
- 会津中将
- 名倉山

- ▼金水晶酒造店(福島)
- ▼寿々乃井酒造店(天栄)
- ▼松崎酒造(天栄)
- ▼渡辺酒造本店(郡山)
- ▼たに川酒造(郡山)
- ▼玄葉本店(田村)
- ▼佐藤酒造(三春)
- ▼豊國酒造(古殿)
- ▼東日本酒造協業組合(二本松)
- ▼鶴乃江酒造(会津若松)
- ▼名倉山酒造(会津若松)

- 嘉永蔵大吟醸
- 末廣酒造
- 嘉永蔵(会津若松)
- 会津宮泉
- 会津吉の川
- 大吟醸きたのはな
- 國権
- 開當男山
- 田島
- 稲川
- 榮四郎
- 萬代芳
- 學十郎
- ▼宮泉銘醸(会津若松)
- ▼吉の川酒造店(喜多方)
- ▼喜多の華酒造場(喜多方)
- ▼国権酒造(南会津)
- ▼開當男山酒造(南会津)
- ▼会津酒造(南会津)
- ▼稲川酒造店(猪苗代)
- ▼榮川酒造磐梯工場(磐梯)
- ▼白井酒造店(会津美里)
- ▼豊國酒造(会津坂下)